



わが
ママ
の

ステイ
ビ
リ
テ
ィ
の



たまには
ご褒美がほしい



へ？



それに、いつも
頑張ってるのは
本当だし…

でもこうなった
ステイブンスさん
めんどくさい
からなあ…



そこが…

かっ

かっこいい
ところでも
あるし…

…わかりました



だっていい
じゃないか

日々僕はHLの為に
頑張ってるんだぞ？

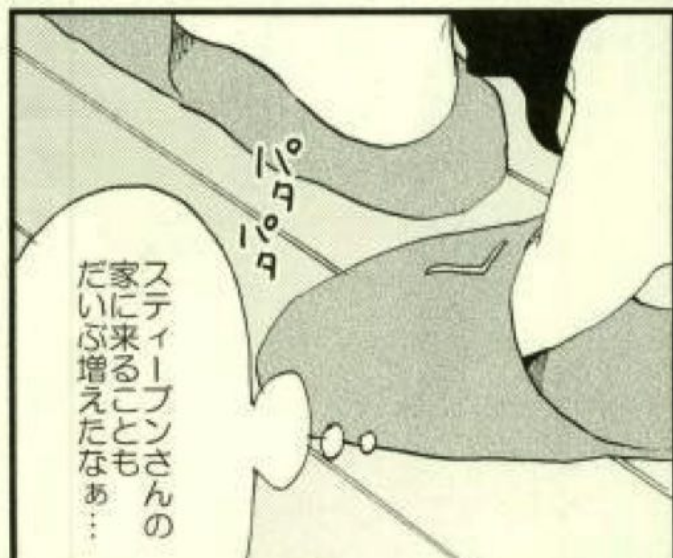
たまには
ご褒美があっても
いいんじゃないか？

な、なんて
こんな話にな
ったん
だっけ…？

今日は
ステイブンの
わがまま

きますす……!

ステイブンのわがまま





…ところで

わがままって

何をすれば

ん？



どうしようかな…

レオナルドが
僕のわがままを
きく！なんて

かわいいこと
言ってくれること
なかなか
ないからな

僕ッ
ステイブンさん
信じてますから！

ステイブンさん
大人だから
無理なことは
言いませんよね！

どうしようかな



とりあえず
ご飯にしよう

ニッ



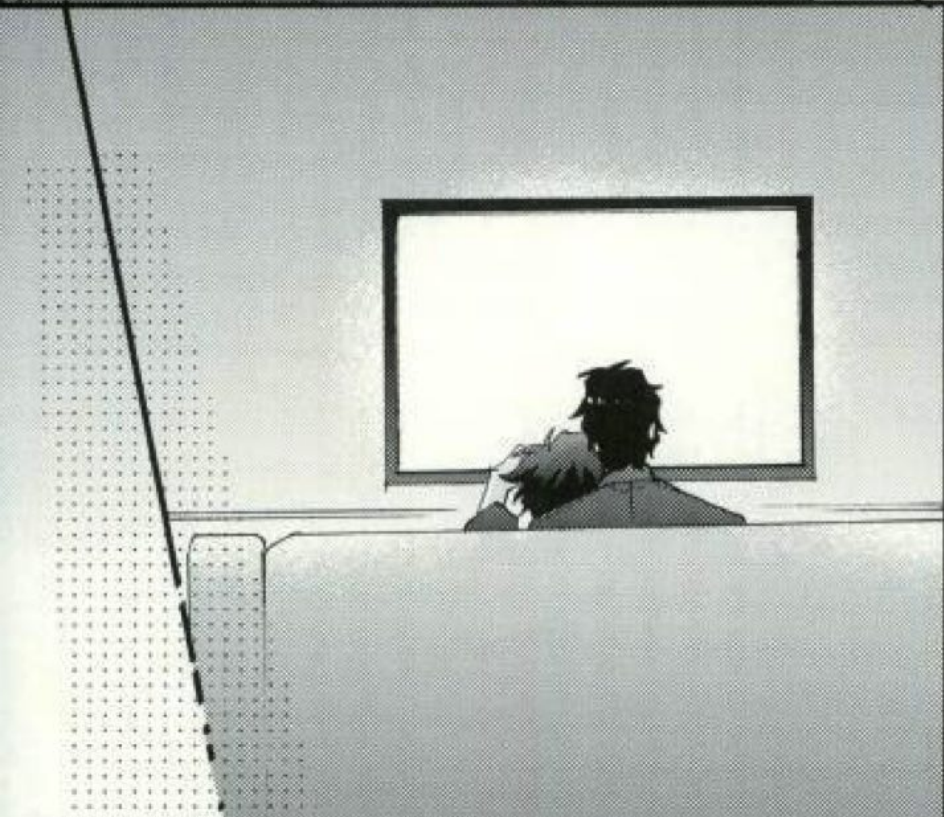
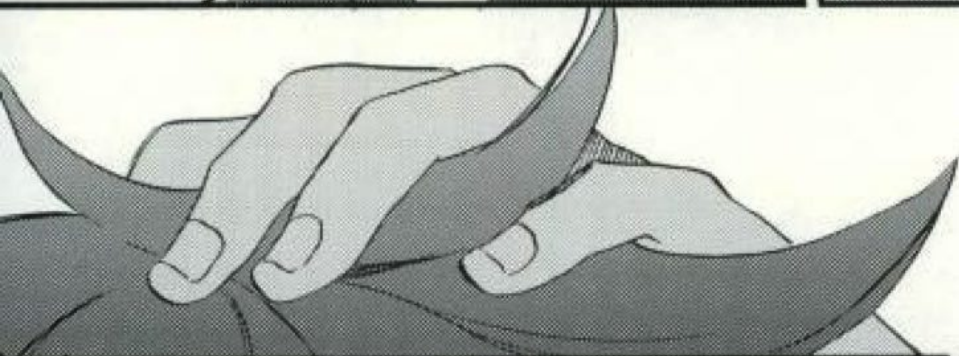
レオはテーブル
メイキングを
しておいてくれ

はい











先に
シャワー浴びて
すまないね

片付けも
ありがとう

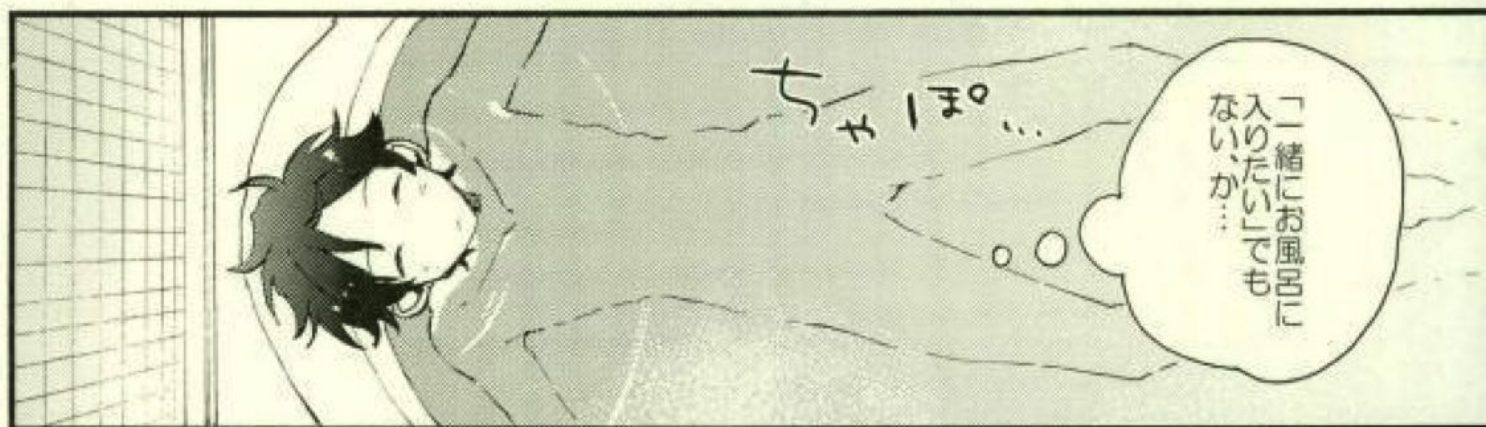
いえ、

僕も何か
お手伝いしたいと
思っていたので



着替えは
準備して
おいたから

ありがとうございます



一緒に風呂に
入りたい...でも
ないか...



ごめんなさい、
ステイブンさん...!



なんかこれじゃあ
僕が期待してた
みたいじゃないか...

なんか
ステイブンさんに
申し訳なくなつて
きたな...





だって
似合うだろう？

僕の
なんだから

.....
ッ



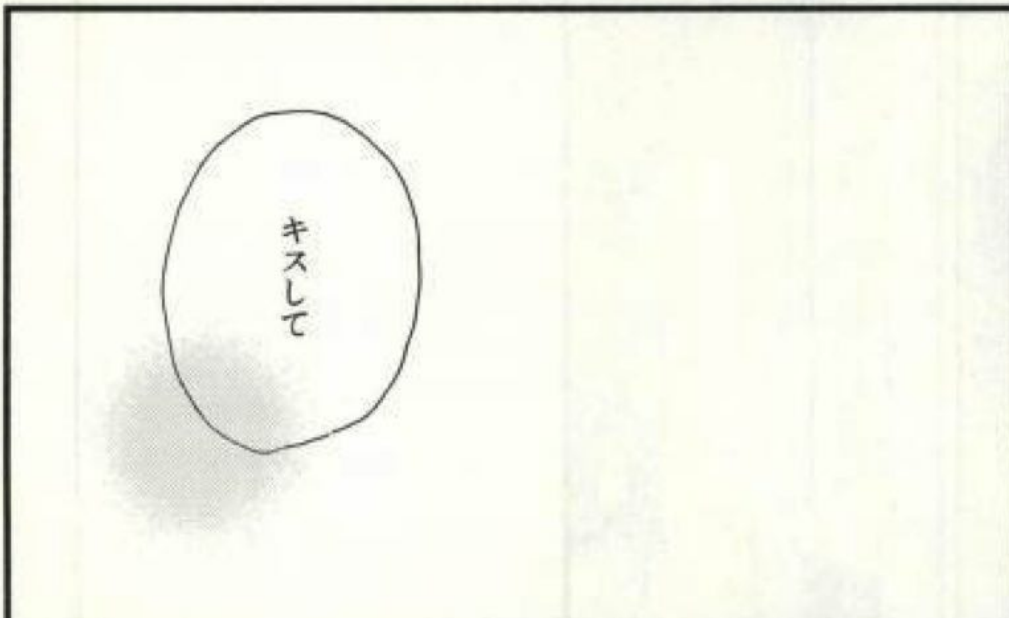
よく似合うよ

自分のシャツが
似合うとかよく
言えますね...?!



いや
でも

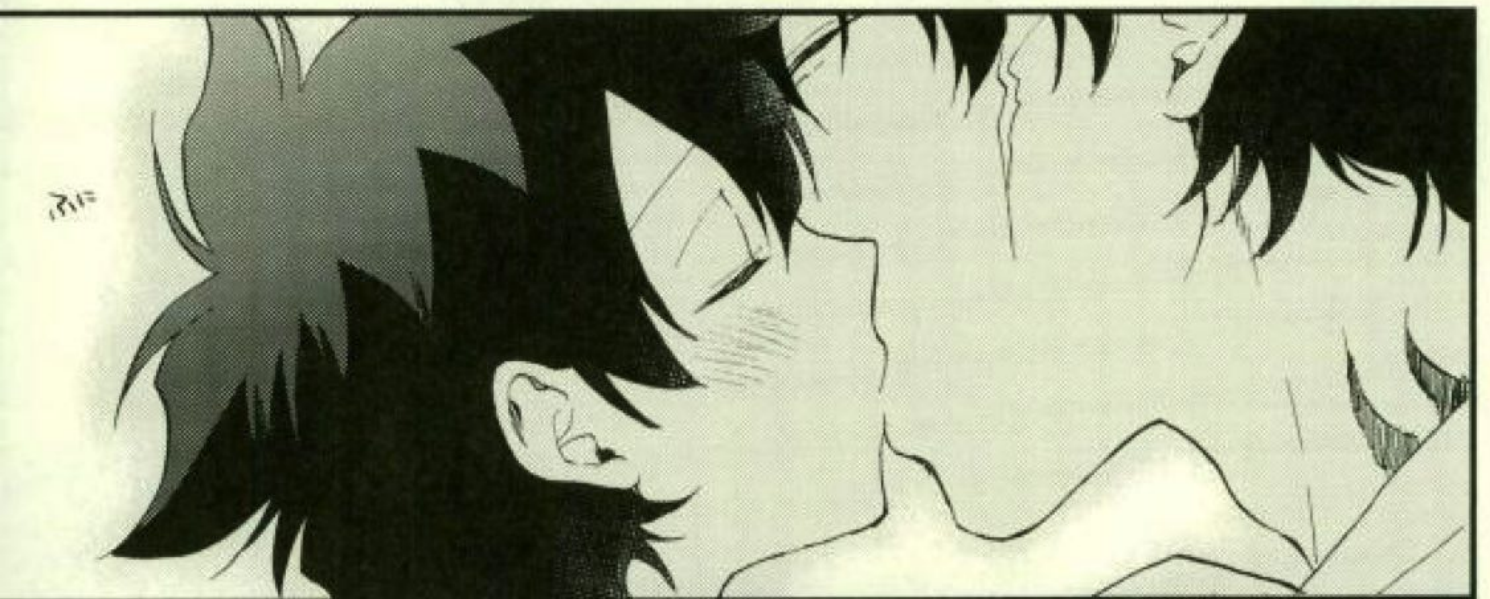
予想通りで
安んじたいかも
しれない...



キスして



キス





ですか？

するん、

当然だろ？

…は



ちゅ

じ、

自分でべろ
入れるのって

はすかしいな…

ちゅ…



汚い!!

汚い
大人だ!!

使えるものは
使わなきゃね

わ



わ、わがまま
多くないですか？!

ちゅー。

今日は
僕のがまます
きいてくれる
っていう
わがままだろう？



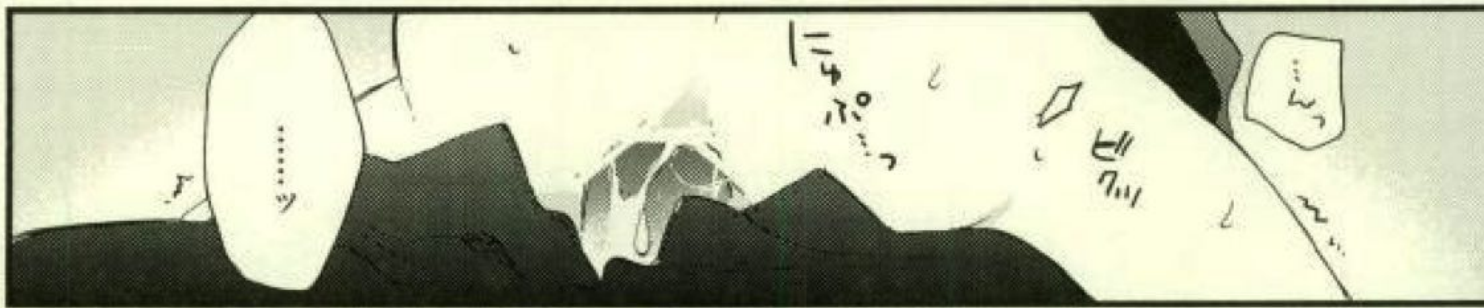
それは…

ちゅ



レオだって
期待して
たんじゃないの









ん？



ほ

ステイブンさん

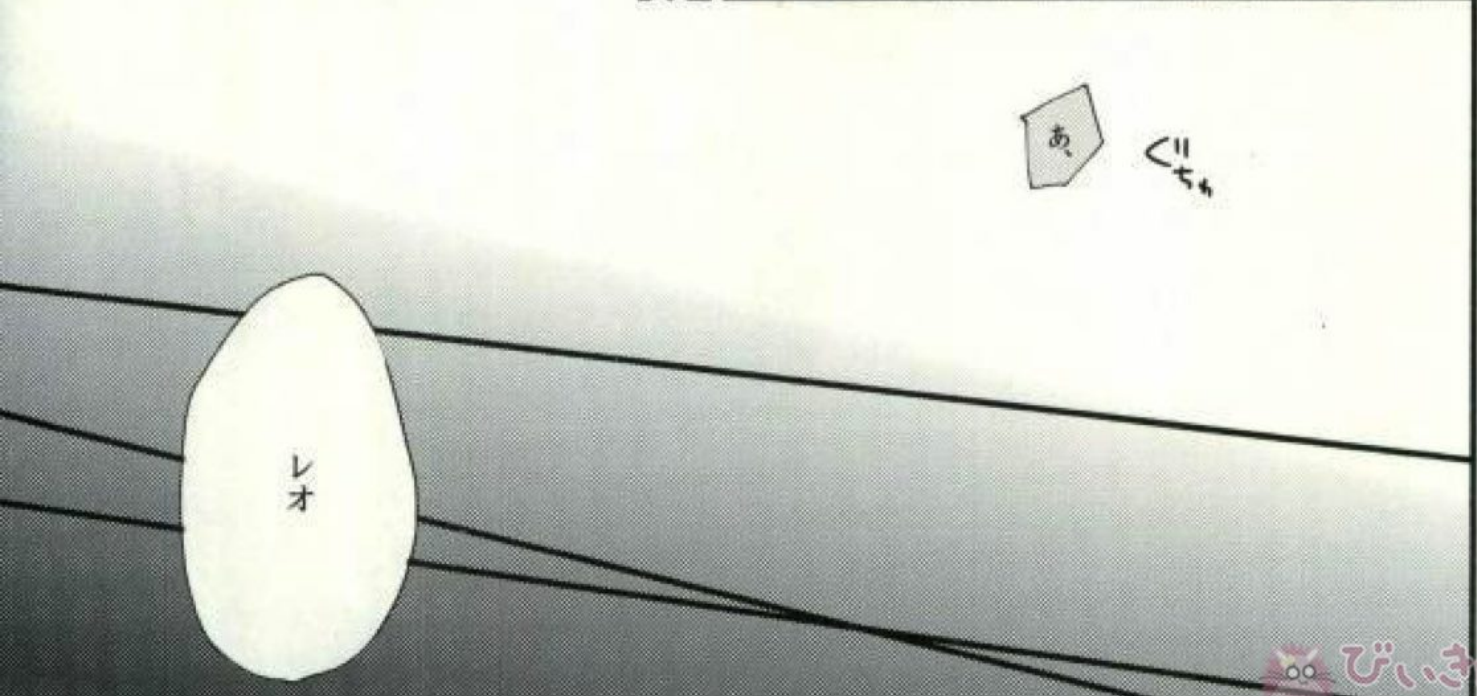


いきたいい...っ

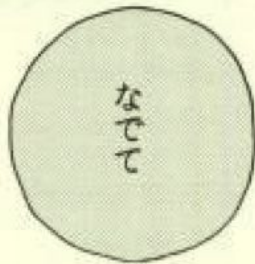
う...う...っ！

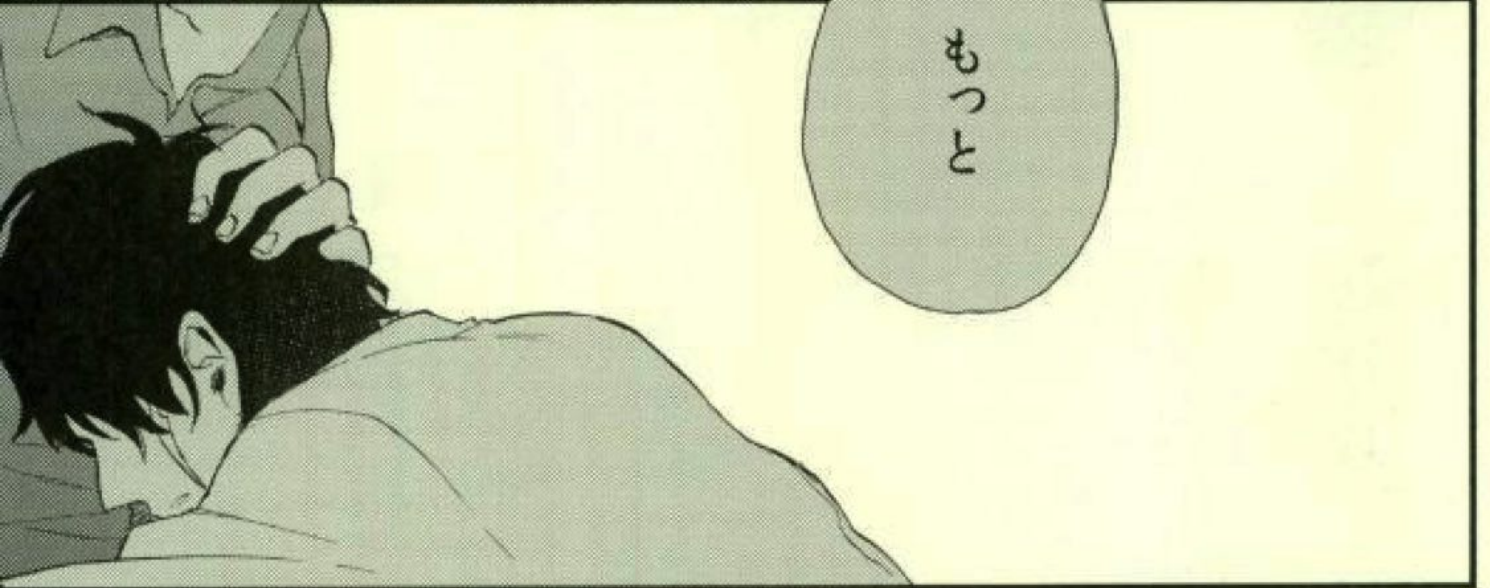


あ、ぐちゃ



レオ







95

か



ちゅ

いつも
ありがとう

ありがとう
ございます



やらしい

もー

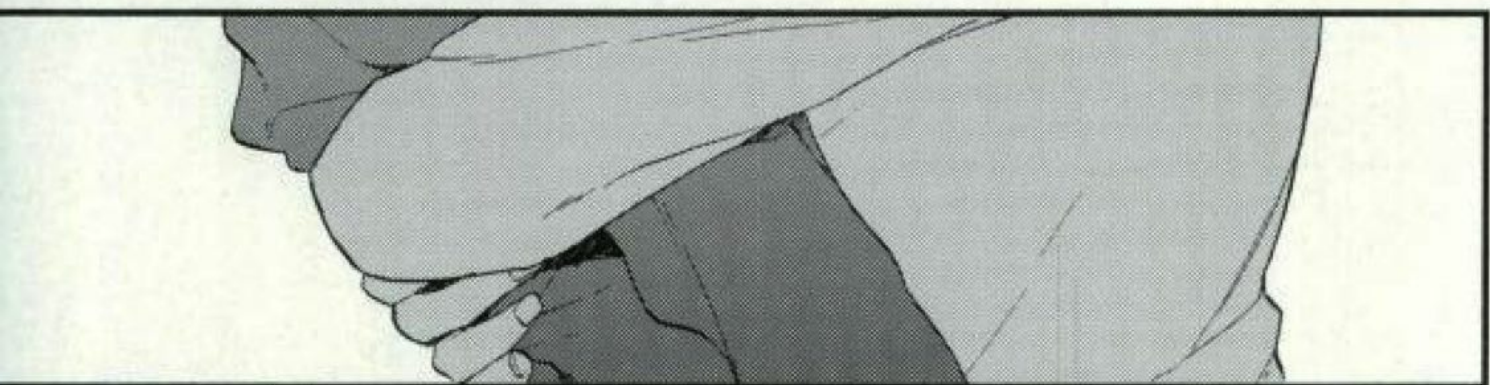
ステイブンのさんの
手つき、



そりやそうだ

君のこと
「いとしい」って
思いながら
なでてるからね





おやすみ
レオナルド

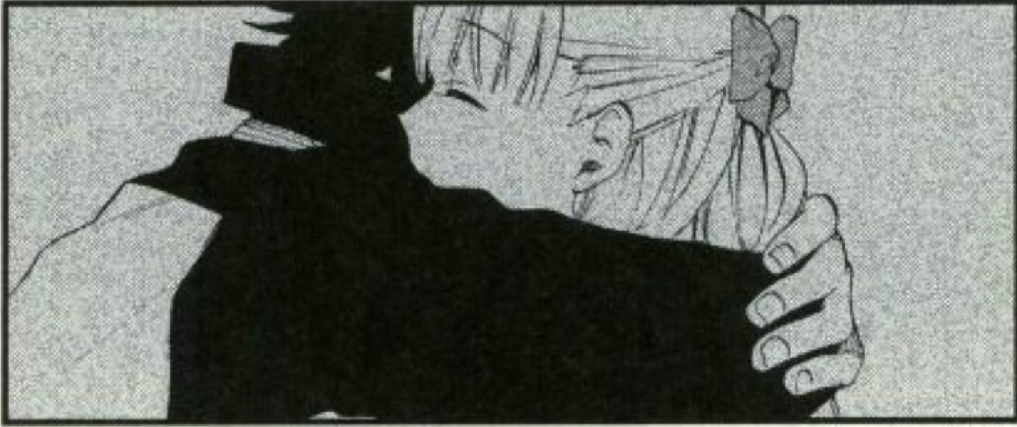
君はいつも

僕をやさしく
抱きしめてくれるね



もっと
力強く

痛いぐらいでも
いいのよ



君が本当に
大切なものを

力強く
抱くことを

僕は知って
いるから



それは
仕方のないことだと
思っている

君の
わがままの先に
僕がいなくても

それでも



僕だけのことを
考えてほしいなあって

大人げないことを
思ってしまうんだ

レオナルド
ステイブンセンのわがまま

君の本当の
わがままを
ききたい

何も言葉が
出なかった

口を開くことさえ
できなかった

軽いお願いでも
いいのに

僕には
それくらい
信用し
かないの？

でも

無理なことでは
お願いできなくて

そう
言わねえ



そいつだって
そうだって



その言葉の先を
考えてしまつて



今日も
動けないだ
ままなんだ



…思った以上に

ステイブンさんが
大人なことに

甘えてしまつて
いるのかもしれない



...なんだ

00



なわがまま
なのは

僕の方
じゃないか

